



人類共通の願いとは

ゴスペル体験を生かして考えています。

鑑賞・体験曲

Sing Together Now

This Little Light Of Mine

Wonderful Jesus

Joy



ゴスペルシンガー、クワイアディレクターの栗野めぐみさん、ゴスペルピアニストの永井開さん、KGCM—FUKUIの皆さんをお招きして、ゴスペル教室を開催しました。コロナウィルス感染予防のために、音楽室と6年教室をオンラインで結んでの開催となりました。

奴隷制度のもと、毎日毎日つらい生活の中で生まれた歌が、ゴスペルであることを知りました。辛くても希望を失わず、歌いつがれてきたゴスペルは、力強いたましいの叫びです。今ゴスペルは私たちのもとにきて、日本語で歌えるようになりました。



初めは、少し緊張したり照れくさかったりして、豊かに表現できなかった子どもたちも、どんどんノリノリになっていきました。これが、きっとゴスペルのもっつ力です。



アフリカで捕えられ、家族と離れ離れにされてしまった人たち。同じ人間なのに「もの」のように扱われ、いつまでも働かないといけなかった人たち。

どんな願いをもって生きていたのだろう。社会科の学習で追究している問い「わたしたち人類は、どのような共通の願いをもっているのだろう。」

この問いの解決に向けて、ゴスペルはとても貴重な体験となりました。この問いの自分なりの答えを予想して、世界に目を向けて調べ学習に取り組み、考えたことを意見文にまとめます。

<予想した答え>

命 平和 戦争放棄 平等 権利

笑顔 希望 夢 仁 恵

優しさ 誇り

.....普通（今だから言える） など、など。

小学校生活での学びを全て生かして考え、予想した言葉は、どれも輝いて見えます。自分がそう考えた根拠を伝え合い、考えを深めていきました。そんな中、印象的だった意見を二つご紹介します。

「学ぶ」 人は、学べば決して悪い事はしない。

「認識・知り合う」

互いの置かれている現実や思いを知ること、

人類はより良い方向に進んでいける。

世界の現実を知って、どんな思いや考えを抱いてくれるのか。どんな意見文を書いて卒業してくれるのか。とても楽しみです。一人一人が抱いた思いや考えが、素敵な未来を創ってくれると信じます。

子どもたちよ、人類の、生きとし生けるものの幸せは、あなたたちの手の中にあります。

未来を君たちに託します。